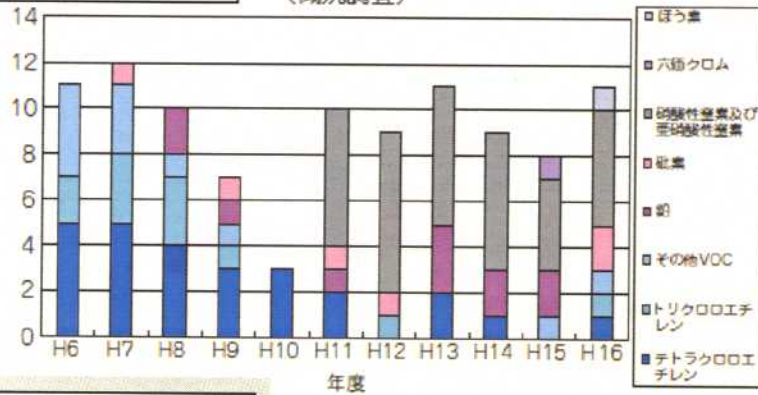
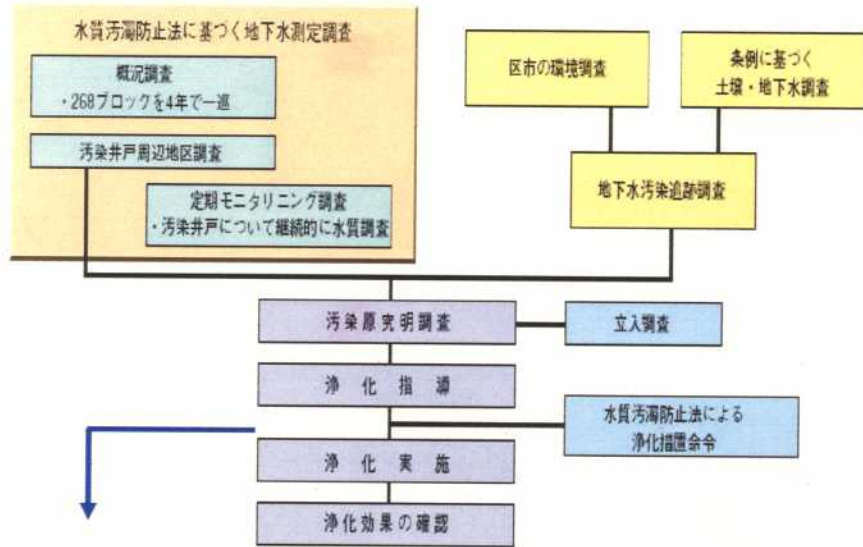


地下水：環境基準超過項目の推移

(概況調査)



地下水汚染対策の流れ



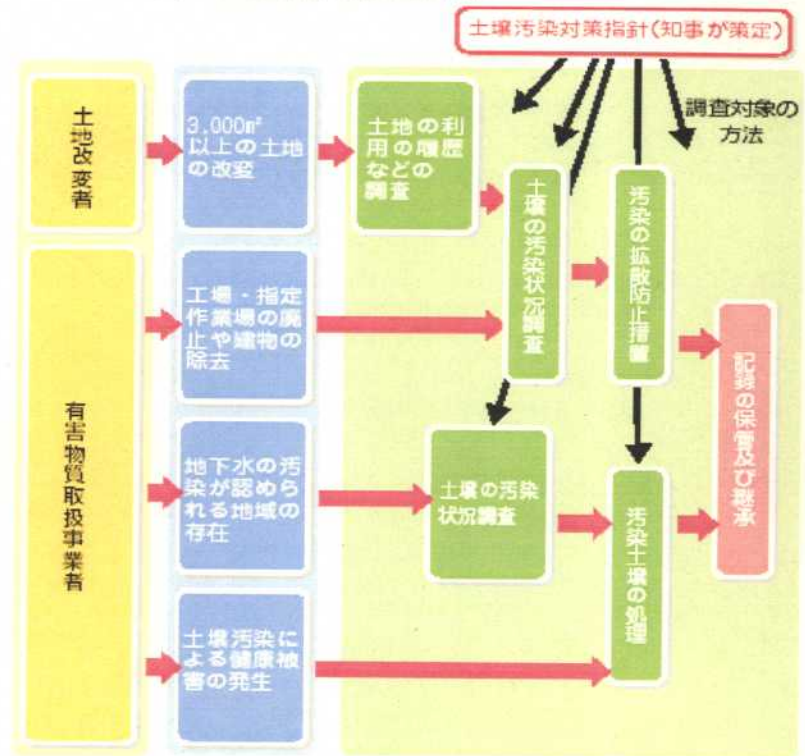
地下水汚染源究明調査結果に基づく浄化対策

汚染物質の種類	対策の内容
有機塩素系化合物 (テトラクロロエチレン トリクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン)	汚染土壌中に吸引用パイプを設置し、真空ポンプで揮発性の汚染物質を吸引し、活性炭により吸着除去したもの 掘削した汚染地下水に空気を吹き込み、揮発性の汚染物質を追い出し、活性炭により吸着除去したもの 汚染した土壌を掘削除去する方法と上記の方法を組み合わせたもの
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	原因である窒素肥料の使用量の削減

環境確保条例と土壌汚染対策法との比較

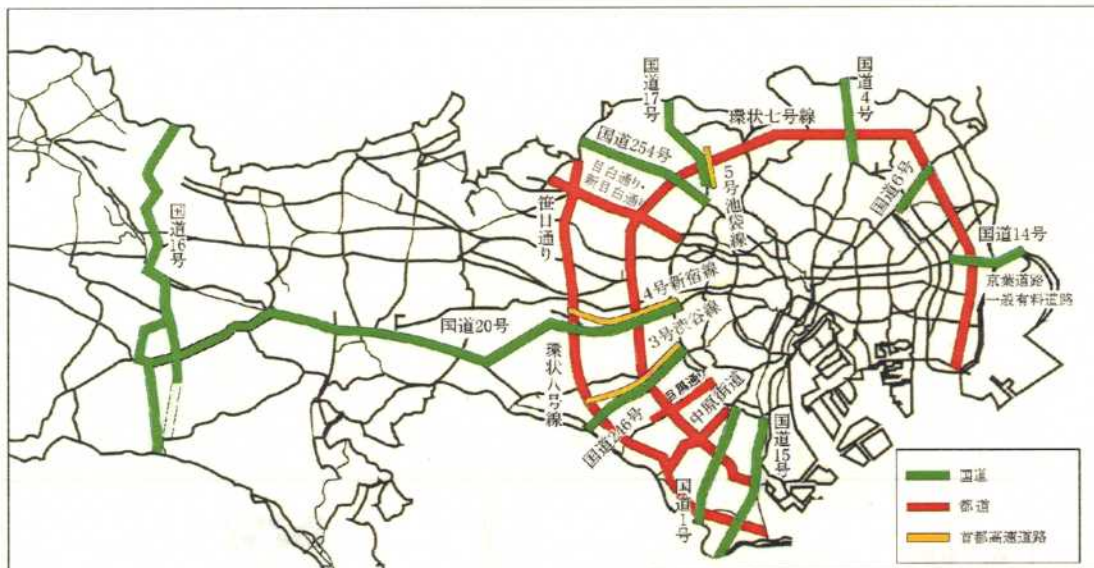
	環境確保条例	土壌汚染対策法
対象物質	土壌汚染環境基準項目及び土壌汚染含有量基準	同左
調査の実施	①土壌汚染による健康被害が生ずるおそれがある場合調査義務 ②地下水汚染が発生した場合調査義務 ③有害物質取扱事業者が廃止又は建物を除却する場合 ④3000m ² 以上の土地改変を行う場合調査義務(土地の履歴調査から)	①水質汚濁防止法の特定施設で有害物質を製造、使用、処理を行っていた場合これを廃止した後調査・報告義務 ②土壌汚染による健康被害が生ずるおそれがあると知事が認める場合、調査命令
調査の実施主体	有害物質取扱事業者	土地の所有者等
指定区域の指定	規定なし	指定基準に適合しない場合、指定・公示
対策	汚染状況調査結果により汚染処理、拡散防止措置の義務	土地の利用状況、汚染の状況により対策実施
完了届	提出義務	規定なし。ただし、指定区域内からの搬出土壌については、土壌管理票で管理

● 条例による土壌汚染処理の流れ



ウ 騒音振動等対策

優先的対策道路区間位置図



○優先的対策道路区間とは

平成8年10月、国及び都の関係機関からなる「東京都道路沿道環境対策検討会」において「東京都内における道路沿道の環境対策の基本方針」を取りまとめた。このなかで、騒音の実態、沿道の利用状況等からみて早急に総合的な対策を講ずるべき道路を「優先的対策道路区間」として選定し、低騒音舗装の導入や交通規制、交通指導取締りなど各種対策を総合的に推進していくことを決めた。

なお、対策の実施にあたっては、沿道の利用状況等を踏まえ、沿線自治体と調整を図りつつ対策を進めていく。

優先的対策道路区間対策延長

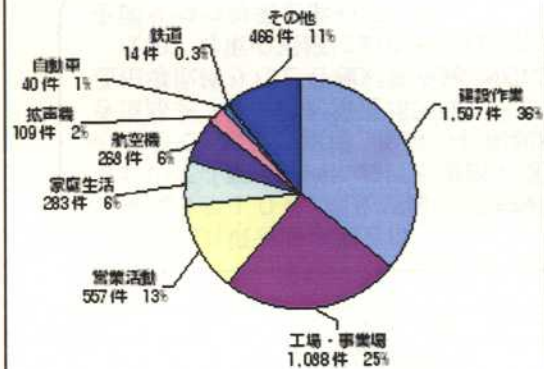
優先的対策道路区間

道路種別	選定期間	対象路線(通称名)	対策延長	起点	終点	
国道	平成9年	国道1号(第二京浜)	8.2km	品川区西五反田一丁目	神奈川県との都県境(大田区多摩川二丁目)	
		国道4号(日光街道)	5.2km	千住新橋北詰	埼玉県との都県境(足立区西保木間三丁目)	
		国道6号(水戸街道)	2.6km	葛飾区本田広小路交差点	葛飾区青戸八丁目交差点	
		国道14号(京葉道路)	1.5km	江戸川区東小松川交差点	江戸川区大杉三丁目	
		国道14号*	2.7km	江戸川区一之江一丁目(大杉三丁目)**	江戸川区篠崎町二丁目	
		国道15号(第一京浜)	7.0km	品川区北品川二丁目交差点	大田区南蒲田交差点	
		国道17号(中山道)	5.6km	板橋区仲宿交差点	埼玉県との都県境(板橋区舟渡三丁目)	
		国道20号(甲州街道)	15.2km	渋谷区初台交差点	調布市中央道(調布インターチェンジ入口)	
		国道246号(玉川通り)	8.0km	渋谷区神泉町交差点	神奈川県との都県境(世田谷区五川三丁目)	
		国道254号(川越街道)	8.7km	板橋区熊野町交差点	埼玉県との都県境(練馬区旭町三丁目)	
		平成12年	国道16号(東京環状(八王子ハイパスを含む))	30.6km	神奈川県との都県境(町田市相原町坂下)	埼玉県との都県境(瑞穂区二本木939)
		平成16年	国道20号(甲州街道)	11.6km	調布市中央道(調布インターチェンジ入口)	立川市日野橋交差点
		平成16年	国道6号(水戸街道)	0.7km	葛飾区四つ木三丁目	葛飾区本田広小路交差点
		平成16年	国道20号(甲州街道)	9.1km	立川市日野橋交差点	八王子市八幡町交差点(八王子市八日町5-10)
国道計			116.7km			
首都高速道路	平成9年	3号渋谷線(国道併設区間)	7.2km	渋谷区神泉町	用賀ランプ入口	
		4号新宿線(国道併設区間)	7.6km	渋谷区初台交差点	杉並区高井戸ランプ	
		5号池袋線(国道併設区間)	2.0km	板橋区仲宿交差点	板橋区泉町	
首都高計			16.8km			
都道	平成9年	環状七号線	55.0km	大田区大森本町二丁目	江戸川区臨海町四丁目	
		環状八号線	25.7km	大田区羽田五丁目	練馬区南田中四丁目	
		笹目通り	1.7km	練馬区南田中四丁目	練馬区谷原交差点	
		目白通り・新目白通り	9.8km	新宿区中落合二丁目交差点	練馬区大泉インターチェンジ出入口	
		平成12年	中原街道	5.0km	品川区平塚二丁目	大田区雪谷大塚町
平成16年	笹目通り	2.0km	練馬区谷原交差点	埼玉県との都県境(練馬区旭町一丁目)		
	目黒通り	5.4km	目黒区下目黒一丁目	目黒区自由が丘三丁目		
都道計			104.6km			
合計			238.1km			

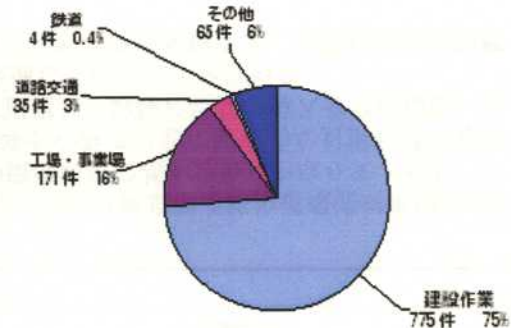
(注) * 道路管理者が異なるため区間を分割標示した。
** 国道14号 起点 上り:一之江一丁目 下り:大杉三丁目

平成 16 年度 騒音・振動に関する苦情件数の割合

[騒音]



[振動]



航空機騒音固定調査結果
(WECPNL (年間平均値)) の推移

【横田飛行場】

調査地点	環境基準値	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
昭島市役所	70	78	80	77	76	78	76
瑞穂町直売所	70	87	88	84	85	87	84
福生第二中学校	70	64	65	63	63	64	61
武蔵村山福祉会館	70	62	62	61	60	60	61

【厚木飛行場】

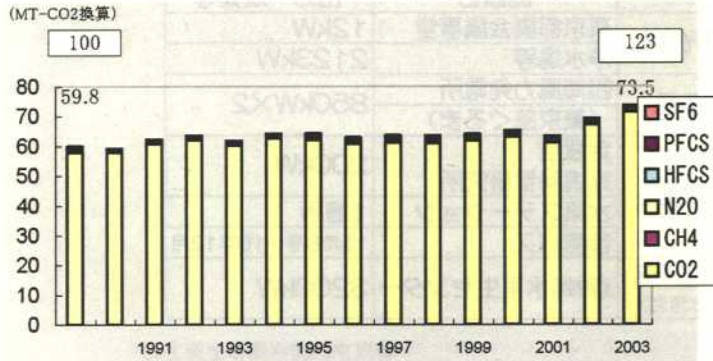
調査地点	環境基準値	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
町田市役所	75	74	76	75	75	77	76

注：赤字部分は環境基準超過を示す。

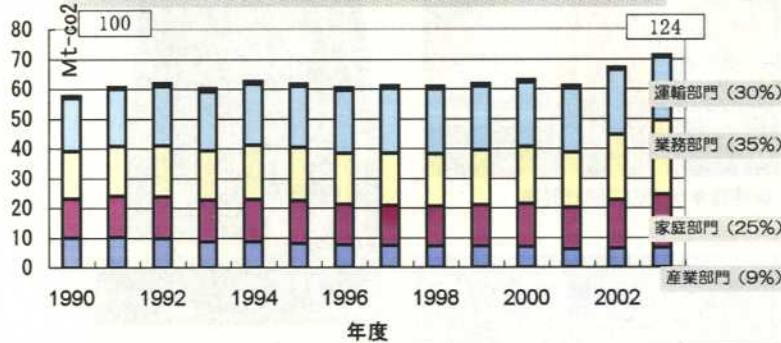
(2) 「都市と地球の持続可能性の確保」 ア 地球温暖化対策

家電製品等の省エネルギー

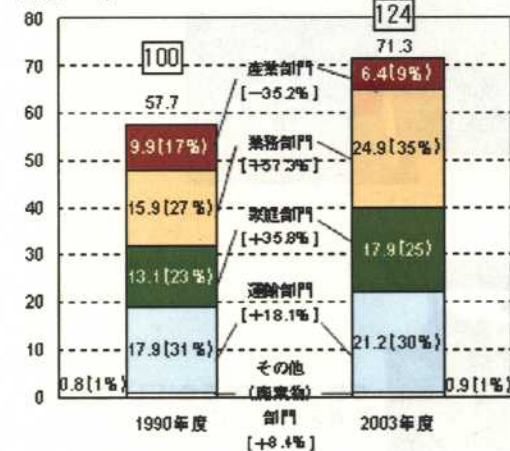
都における温室効果ガス排出量の推移



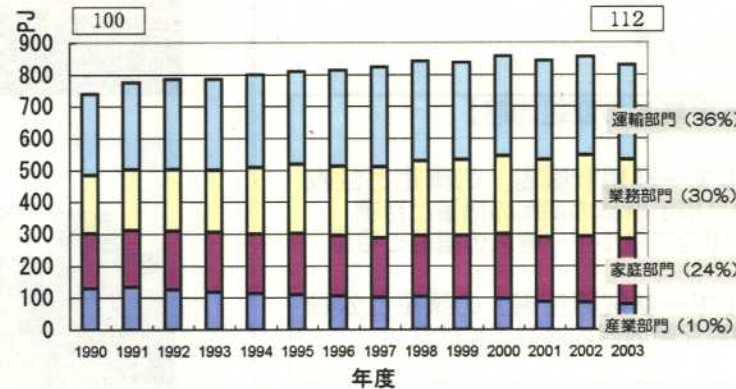
都における二酸化炭素排出量の推移



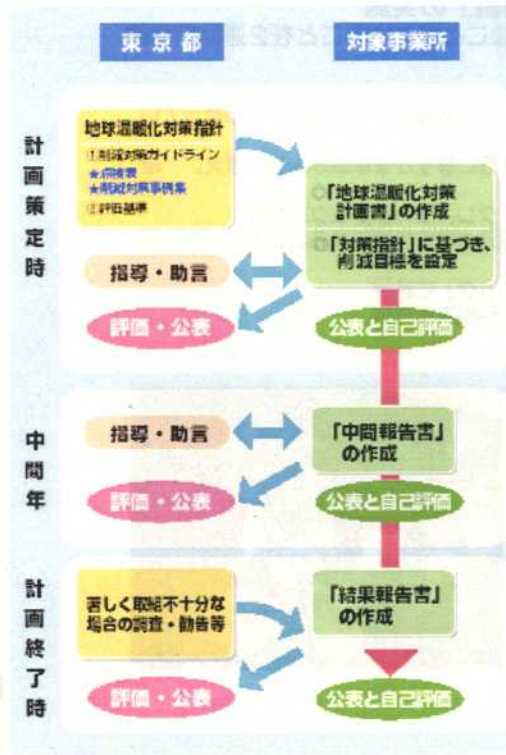
(百万ト-CO2)



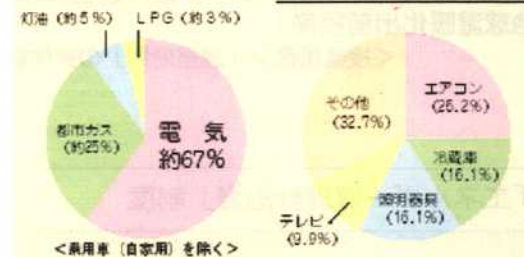
都におけるエネルギー消費量の推移



「地球温暖化対策計画書」制度の流れ



市内家庭部門の燃料種別 CO₂ 排出量 家庭における家電製品の消費電力割合 (2003年度 東京都資料)



マンションの環境性能表示 (ラベル)



キッズ向け環境教育プロジェクト



- ◆「キッズISO14000入門編」の実施
環境マネジメントとは、どのようなことかということを実験してもらおうもの。
- ①ワークブックを配布
 - ②家庭内の電力消費、ガス消費、水道、ごみ処理について現状がどうなっているかデータをチェックし記録
 - ③どうしたら消費を減らせるか、何を実行に移すかを家族みんなで考え、自分で宣言
 - ④実行に移しながら再度データをチェックし、ワークブックに記録
 - ⑤その結果を以前のデータと比較し、自分の考えを評価するとともに、次の目標を考える
 - ⑥結果を記したワークブックを「アーテック」に送付
 - ⑦アーテックは、こども一人ひとりに、評価表を送付

主催：国際芸術技術協力機構（アーテック）
NPO法人
UNEP、文部科学省、東京都などが本プログラムを後援

- ◆気象キャスターネットワークとの連携による
「地球温暖化出前授業」
＜授業風景＞「温室効果」の実体験



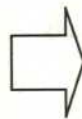
「エネルギー環境計画書」制度

制度のポイント

都内に供給される電気の「環境性の向上」を目指します。

【制度の目的】

- ①CO₂排出係数を改善する取組を推進
- ②再生可能エネルギーの導入を促進



【対象電気事業者の取組内容】

- 「エネルギー環境計画書」の策定と公表
 - ・CO₂排出係数の抑制の措置と目標
 - ・再生可能エネルギー導入の措置と目標
- 「エネルギー状況報告書」の策定と公表
 - ・計画書記載内容の進捗よく状況

都施設における再生可能エネルギーの導入

【主な事例】

	施設名	出力・規模等
太陽光発電	東京都議会議事堂	12kW
	浄水場等	2123kW
風力発電	臨海風力発電所 (東京風ぐるま)	850kW×2
燃料電池	定置型 環境科学研究所	200kW
	水素ステーション	1箇所
	都営バス	15年8月～16年12月
バイオマス (下水汚泥)	森ヶ崎水再生センター	3200kW



●朝霞浄水場の太陽光発電

●東京都議会議事堂上屋上の太陽光発電



●東京風ぐるま



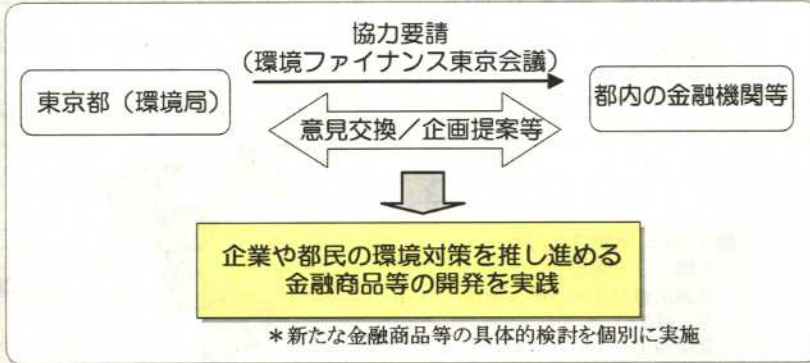
●都バス（燃料電池バス）と水素ステーション

環境金融プロジェクト



平成17年5月16日
「環境ファイナンス東京会議」
都内の金融機関等（22機関）の
参加を得て開催

環境政策と経済活動の血液ともいえる金融機関との連携を図る



平成17年度 4つの金融機関から5つの新たな環境金融商品が誕生
商工組合中央金庫、東日本銀行、住友信託銀行、みずほ銀行及びオリエン
トコーポレーション

都の下水道事業における削減目標

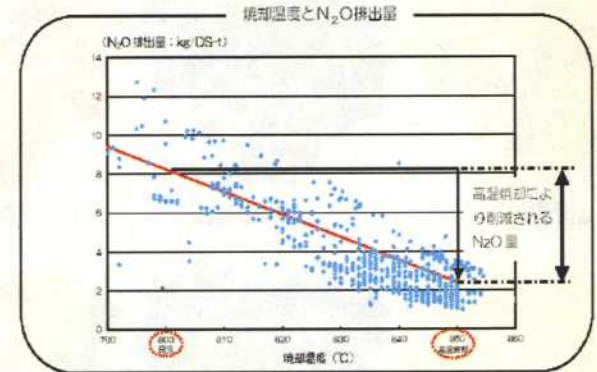
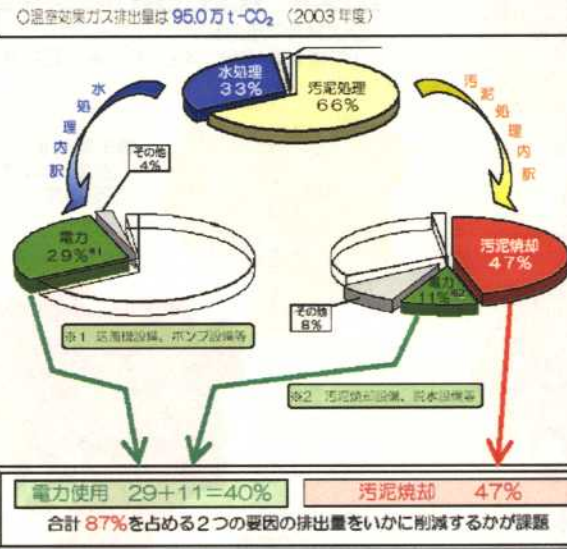
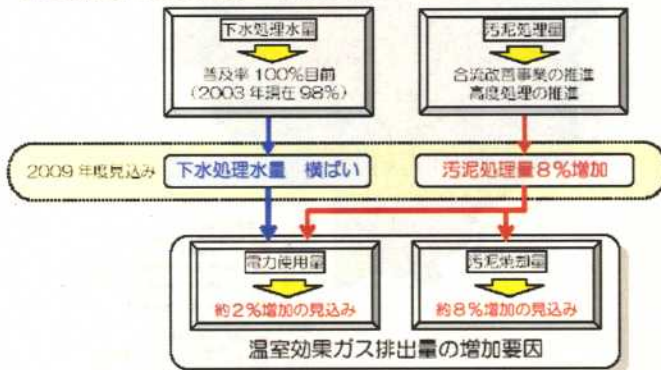
削減量：1990(平成2)年度比で6%以上削減
(2003(平成15)年度比で約12%以上削減)

基準年度：1990年度 (平成2年度) 87.9万トン-CO2	削減量 約5万トン-CO2 (6%以上削減)	<目標年度> 2009年度 (平成21年度) 82.6万トン-CO2
現状：2003年度 (平成15年度) 95.0万トン-CO2	削減量 約12万トン-CO2 (12%以上削減)	

下水汚泥の高温焼却

都の下水道事業

今後の見通し(2003年度 → 2009年度)



(出典：「アースプラン2004」
東京都下水道局 平成16年9月)

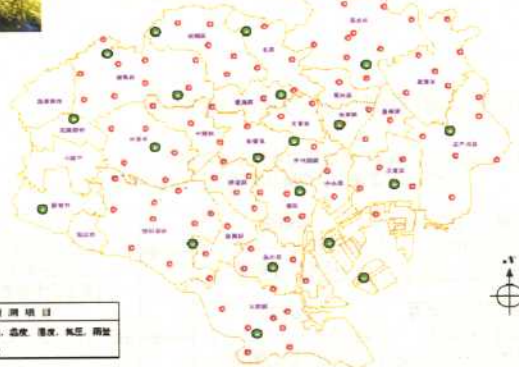
イ ヒートアイランド対策

ヒートアイランド観測網 (METROS) の構築



【全国初の観測網の構築】

- 区部100箇所の小学校の百葉箱に、温湿度記録計を設置 (平成14年7月~平成18年3月)
 - 区部を中心に20箇所、温湿度、風向・風速、雨量、気圧の気象計測器を設置 (平成14年7月~平成17年3月)
- ※従来は、区部3箇所の気象庁データを活用



観測項目	
●	風向、風速、湿度、温度、気圧、雨量
●	温度、湿度

ヒートアイランド対策推進エリアと今夏の主な対策

■新宿エリア

- ・保水性舗装、保水性ブロック
- ・街路樹再生
- ・壁面緑化
- ・校庭芝生化

■大崎・目黒エリア

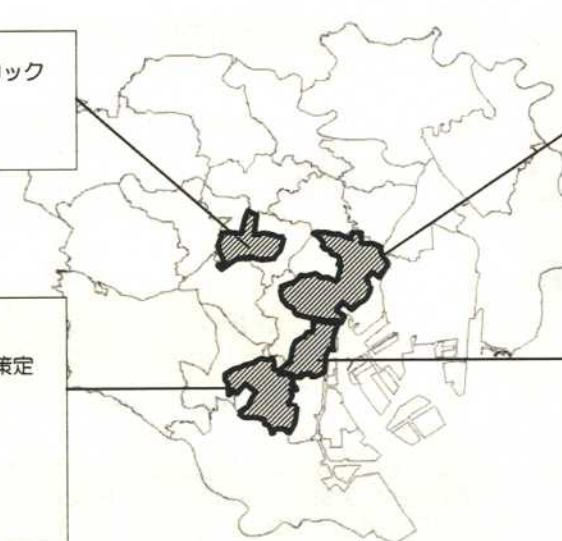
- ・大崎エリア周辺環境配慮ガイドライン策定
- ・屋上緑化
- ・壁面緑化
- ・校庭芝生化
- ・目黒川護岸緑化
- ・公園整備
- ・打ち水

■都心エリア

- ・保水性舗装
- ・遮熱性舗装
- ・街路樹再生
- ・屋上緑化
- ・壁面緑化
- ・校庭芝生化
- ・散水事業
- ・打ち水

■品川駅周辺エリア

- ・開発計画段階からの対策誘導
- ・運河沿い遊歩道緑化
- ・公園整備

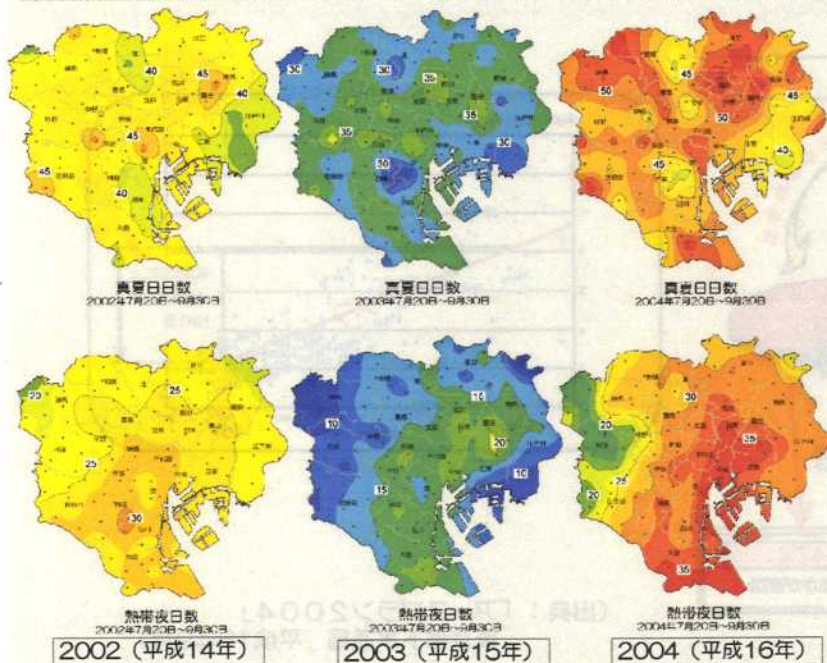


METROS観測結果

※ヒートアイランドの地域強度の実態が初めて明らかに

Topics

2004夏、観測史上最も高い気温を記録
2004年7月20日
(午後1時40分 42.7℃ 足立区江北)



熱環境マップの策定

人工排熱や地表面被覆等の状況から、
大気に与える熱負荷の状況をマップ化



【熱環境マップの凡例】

- | | | |
|--------|--------------------|----------------|
| 類型 I | 業務集積地域 | } 課題地域 |
| I-1 | 地表面被覆率、人工排熱からの熱負荷大 | |
| I-2 | 地表面被覆率からの熱負荷大 | |
| I-3 | 人工排熱からの熱負荷大 | } 課題地域 |
| | 課題地域と比べて熱負荷小 | |
| 類型 II | 住宅密集地域 | } 課題地域 |
| II-1 | 建群、地表面被覆率からの熱負荷大 | |
| II-2 | 建群、地表面被覆率からの熱負荷大 | } 課題地域と比べて熱負荷小 |
| | 課題地域と比べて熱負荷小 | |
| 類型 III | 緑地、緑の比が高い地域 | } 開放的な環境の地域 |
| 類型 IV | 開放的な環境の地域 | |
| 類型 V | 混在地域 | |

「建築物環境配慮指針」の改正の概要

「評価項目」の新設と評価基準の強化等を実施

環境配慮項目	新指針の内容	
	区分	配慮すべき事項
エネルギーの使用の合理化	強化	○建築物の熱負荷の低減 ◆建築物の形状・配置 ◆外壁・屋根の断熱 ◆窓部の日射遮へい及び断熱
		○自然エネルギー利用 ◆直接利用、◆変換利用
		○省エネルギーシステム ◆設備システムの省エネルギー
		○地域における省エネルギー ◆地域冷暖房計画等
		○効率的な運用のしくみ ◆露点運用のための計量及びエネルギー管理システム ◆露点運用のための目標・計画等
自然環境の保全	強化	○水循環 ◆雨水浸透
		○緑化 ◆緑の質の確保及び生態系への配慮 (動植物の生育環境、連続した緑の形成、樹木等の維持管理への配慮)
資源の適正利用	強化	○エコマテリアル ◆再生骨材等利用 ◆混合セメント等利用 ◆リサイクル鋼材利用 (その他エコマテリアル等利用)
		○オゾン層保護及び地球温暖化の抑制 ◆断熱材用発泡剤 ◆空調機設備用冷媒
		○長寿命化等 ◆維持管理、更新、改修、用途の変更等の自由度の確保 ◆躯体の劣化対策 ◆短寿命建築物の建設資材の再使用対策等
		○水循環 ◆雑用水・雨水利用
		○建築設備からの人工排熱対策 ◆建築設備からの人工排熱の低減
ヒートアイランド現象の緩和 「評価項目」の新設	強化	○敷地と建築物の被覆対策 ◆敷地と建築物の被覆の改善
		○風環境への配慮 ◆望ましい風環境を確保するための建築物の形状・配置

「緑化計画書制度」における「屋上等緑化」の指導実績

緑化面積（対象建物数：3000件） ※平成17年12月末現在



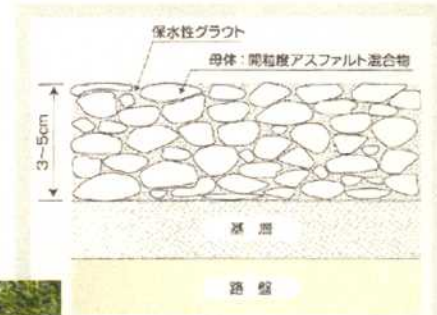
校庭の芝生化



(世田谷区立烏山小学校)

保水性舗装の実施と散水事業

●保水性舗装の断面構造（例）



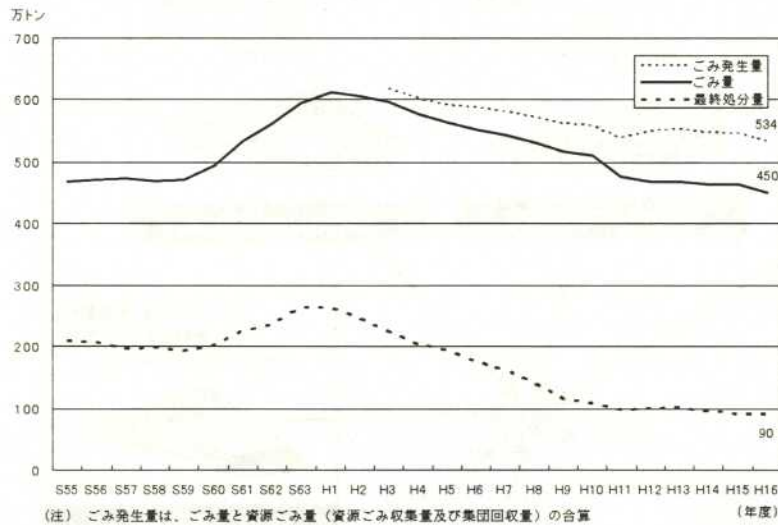
(出典：大成ロテック(株)ホームページ「クールロード」技術情報より)



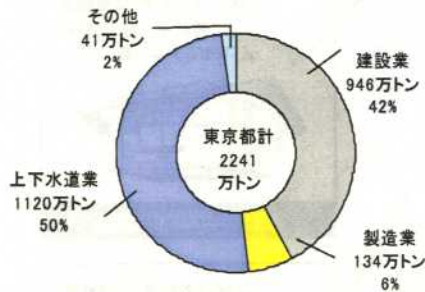
●丸の内周辺や汐留地区で定期的に下水再生水による散水を実施

ウ 廃棄物・リサイクル対策

○都内一般廃棄物 ごみ発生・排出量、最終処分量の推移

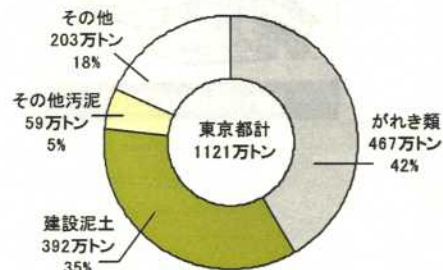


○都内産業廃棄物の業種別排出量(16年度)



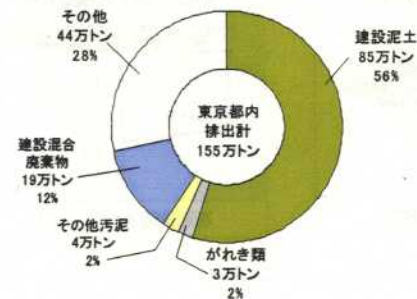
○都内産業廃棄物の種類別排出量(16年度)

(上下水道業除く。)

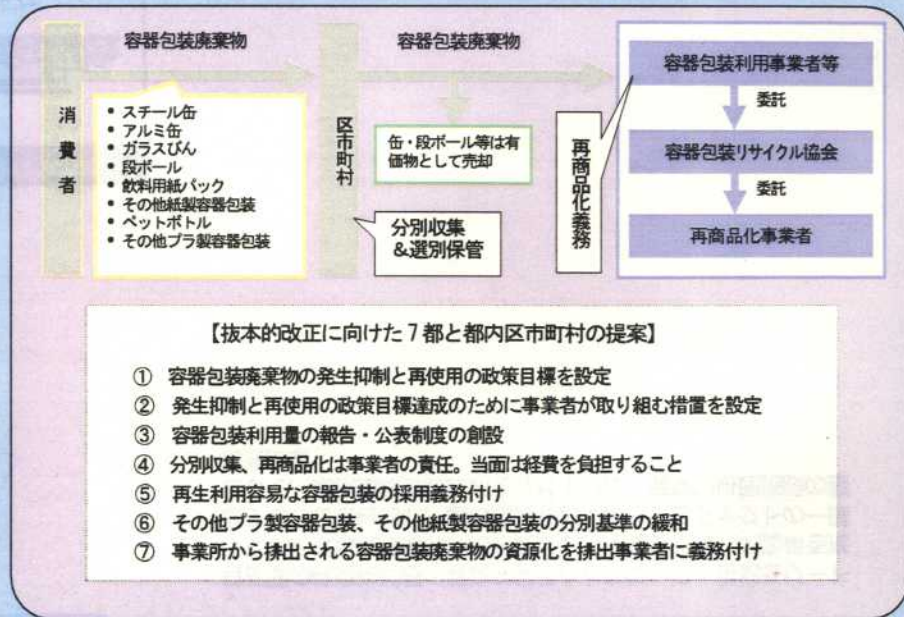


○都内産業廃棄物の種類別最終処分量(16年度)

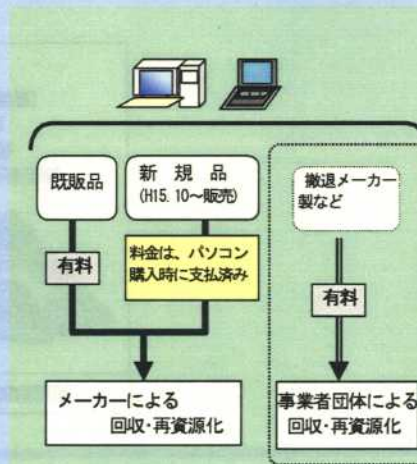
(上下水道業除く。)



容器包装リサイクル法の改正に係る国への提案



家庭系パソコンのリサイクルの仕組み



使用済み注射針の回収システム

- ① 薬局は在宅患者に回収容器等を配布
- ② 在宅患者は使用済み注射針の入った回収容器を薬局へ持込
- ③ 薬局は地区管理センターへ回収容器を持込
- ④ 特別管理産業廃棄物処理業者へ収集運搬、処分を委託



建設混合廃棄物リサイクル施設



高俊興業株式会社
 ・平成16年12月稼働
 ・処理能力 約928トン/日

ガス化溶融等発電施設



東京臨海リサイクルパワー株式会社
 (建設中)
 ・平成18年8月稼働予定
 ・処理能力 廃プラ 550トン/日
 感染性 50トン/日

PCB廃棄物処理施設



日本環境安全事業株式会社
 ・平成17年11月稼働
 ・処理能力 2トン/日
 (PCB分解量)

建設混合廃棄物リサイクル施設

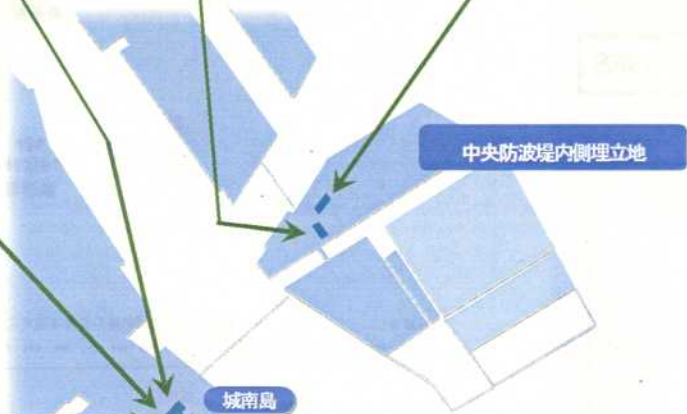


株式会社リサイクル・ピア
 ・平成17年4月稼働
 ・処理能力 約961トン/日

廃情報機器類リサイクル施設



株式会社フューチャー・エコロジー
 ・平成16年4月稼働
 ・処理能力 約36トン/日



廃情報機器類等リサイクル施設



株式会社リーテム
 ・平成17年7月稼働
 ・処理能力 約300トン/日

食品廃棄物リサイクル施設



バイオエナジー株式会社
 ・平成18年4月稼働
 ・処理能力 約110トン/日

食品廃棄物リサイクル施設

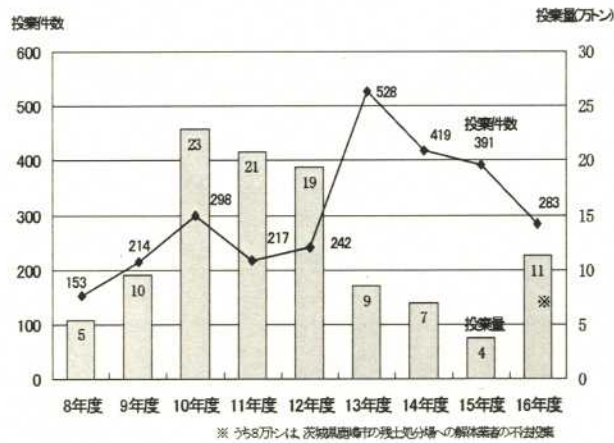


株式会社アルフォ
 ・平成18年4月稼働
 ・処理能力 約140トン/日

スーパーエコタウン事業

首都圏の廃棄物問題の解決を図るとともに、21世紀をリードする新たな環境産業の立地を促進し、循環型社会への変革を推進することを目的に、国の進める都市再生プロジェクトの一環として、東京臨海部においてリサイクル・廃棄物処理施設の整備を推進

○関東地方（1都6県）における不法投棄



○解体廃棄物の不法投棄



「産廃スクラム27」「産廃Gメン」による取組

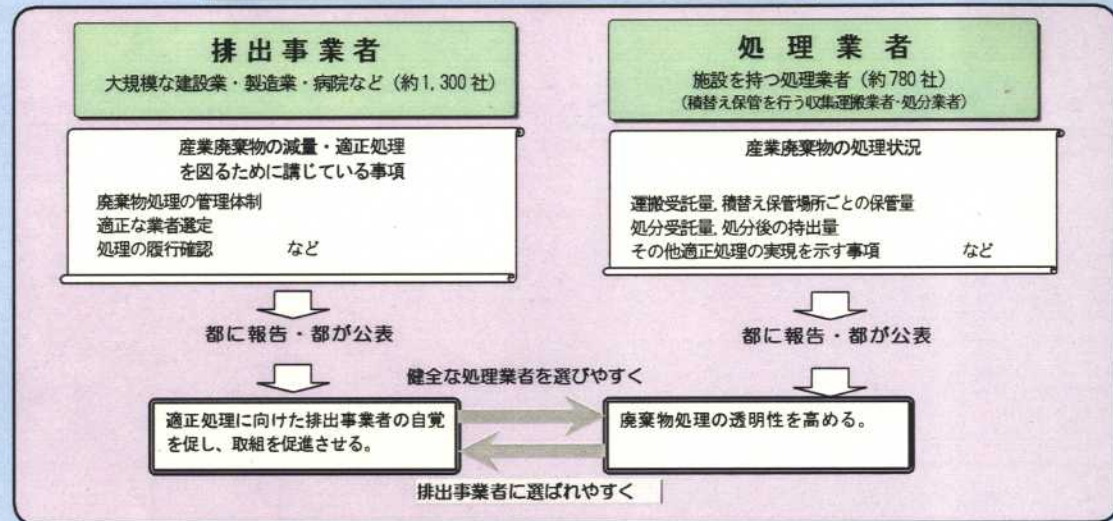


(一斉路上調査)

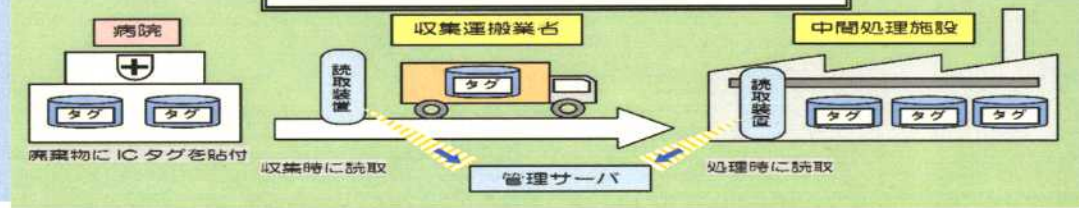


(港湾区域のパトロール)

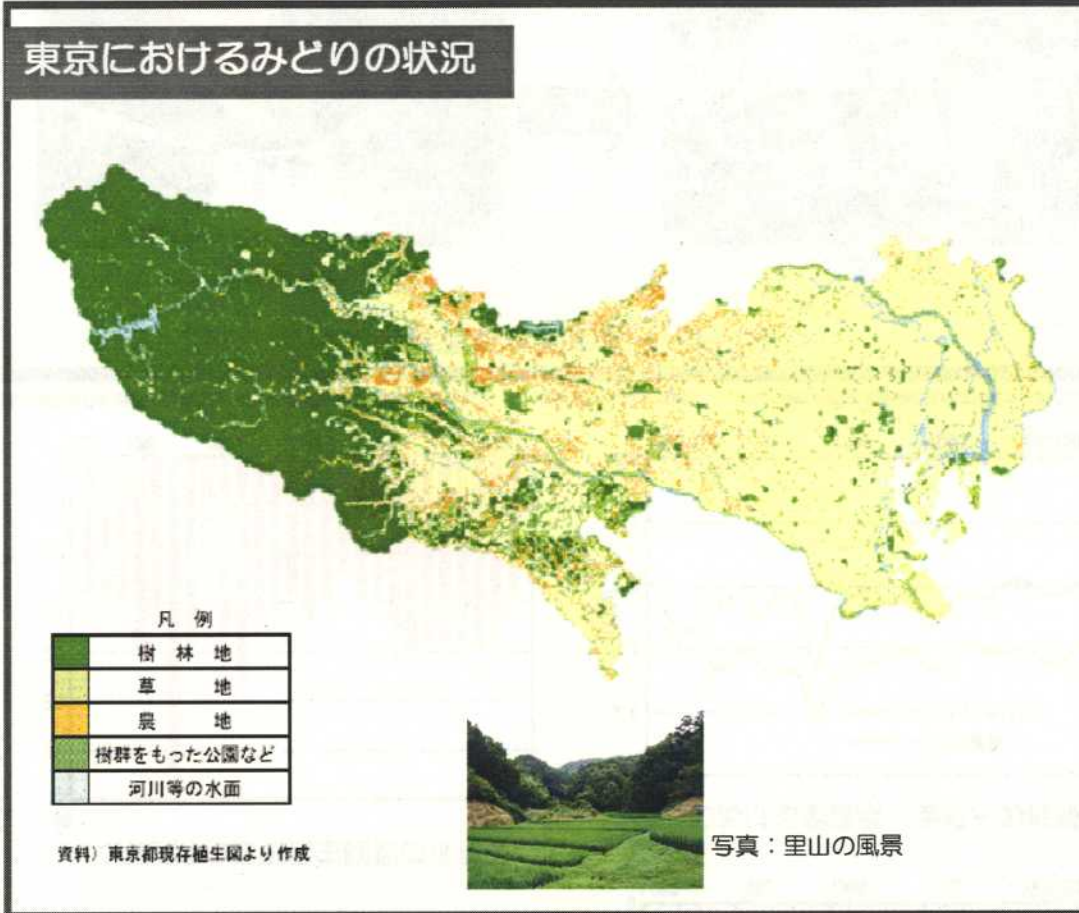
産業廃棄物の報告・公表制度の創設（条例改正）



ICタグによる感染性廃棄物の追跡システム



(3)「自然環境の保全と再生」 ア 自然の保全・再生対策



<多摩の森林再生の仕組み>

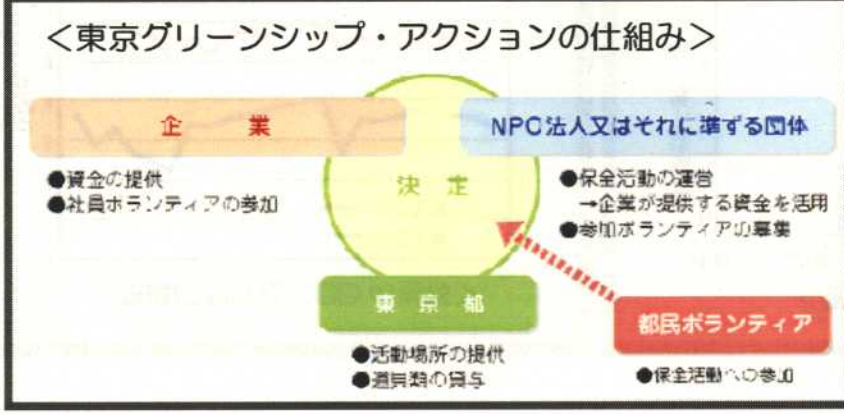
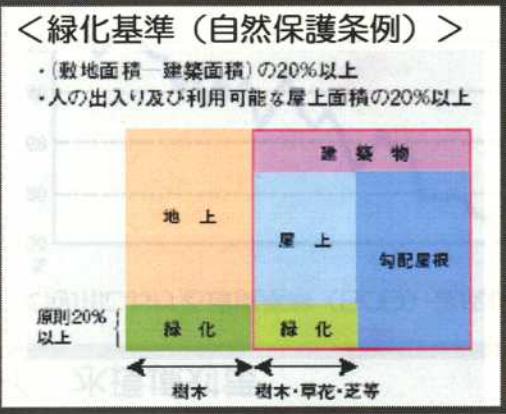
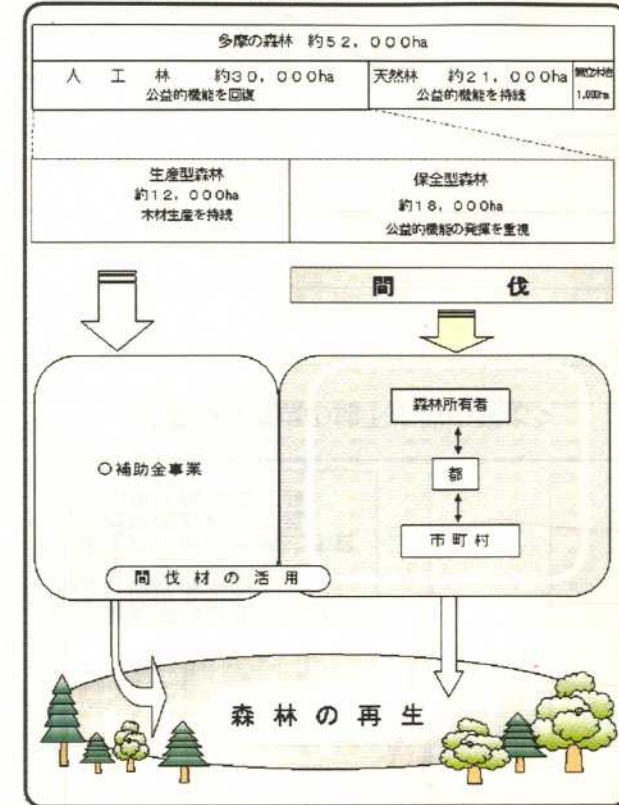
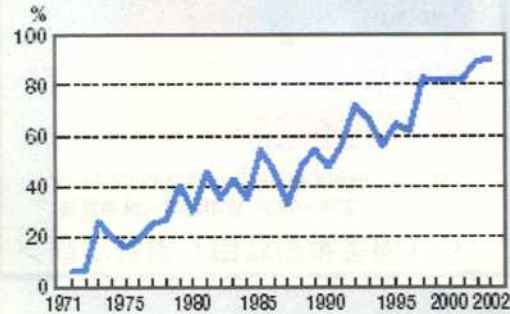


写真: 荒廃した山林

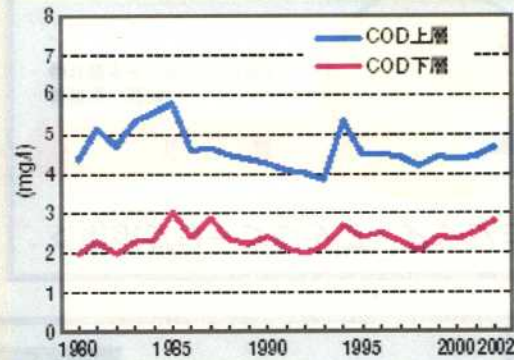
写真: 間伐作業の様子

イ 水環境対策

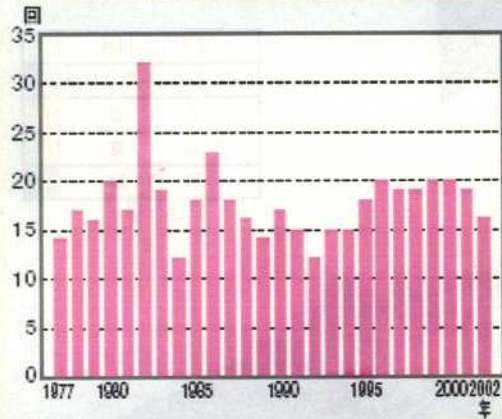
＜河川における環境基準（BOD）達成状況＞



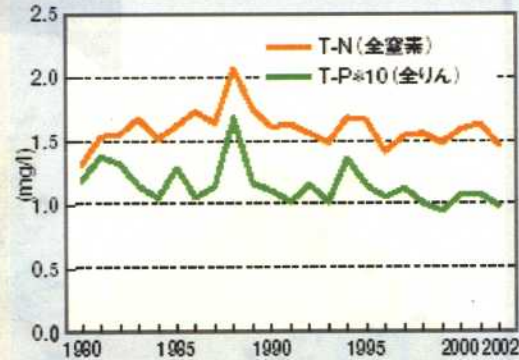
＜海域におけるCODの推移＞



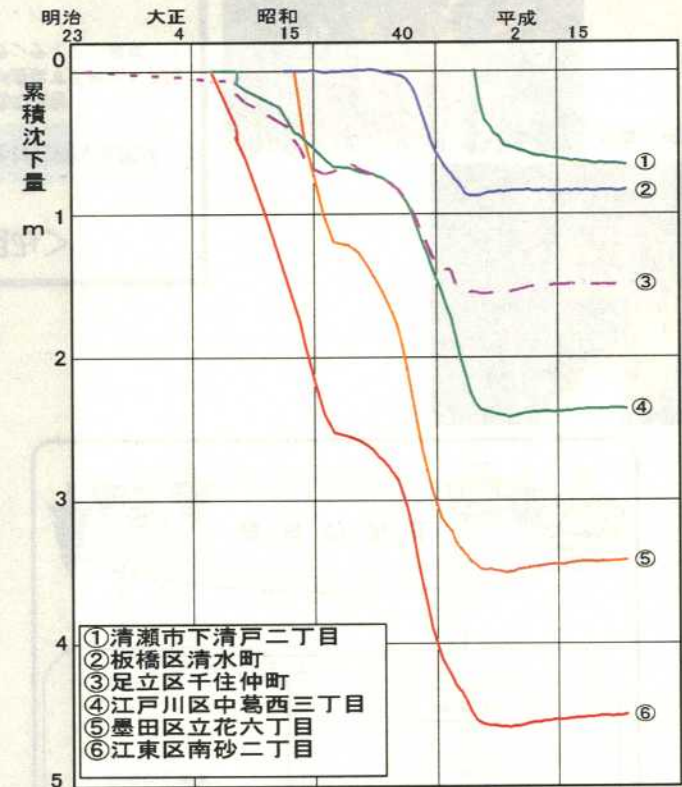
＜東京湾の赤潮発生回数の推移＞



＜海域における全窒素・全りんへの推移＞



＜都内6地点の累積地盤沈下量＞



＜清流復活事業の例（目黒川）＞

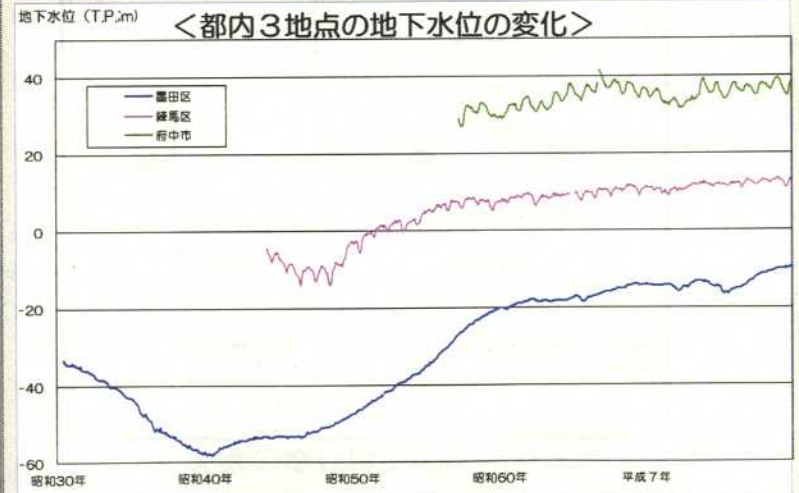
事業前



現在



＜都内3地点の地下水位の変化＞



ウ 生物多様性、自然とのふれあい対策

シカ対策

人とシカが共存する
多摩の豊かな森づくりをめざして

■シカ保護管理計画に基づく対策

- 個体数管理
捕獲の推進と狩猟規制の緩和によるシカの個体数の適正化
- 生息環境管理
防護ネット等による自然植生の回復・保護と治山・砂防工事による裸地化した森林の回復
- 被害防除対策
囲い柵、防護ネット等による農林業被害の防除

■フィードバック管理

保護管理計画

- ・ 個体数管理
- ・ 生息環境管理
- ・ 被害防除対策

対策の実施

モニタリング

- ・ 生息状況（分布域、生息密度）
- ・ 個体情報（年齢、性別、食性ほか）
- ・ 行動範囲
- ・ 植生被害
- ・ 農林業被害

評価・検討・修正

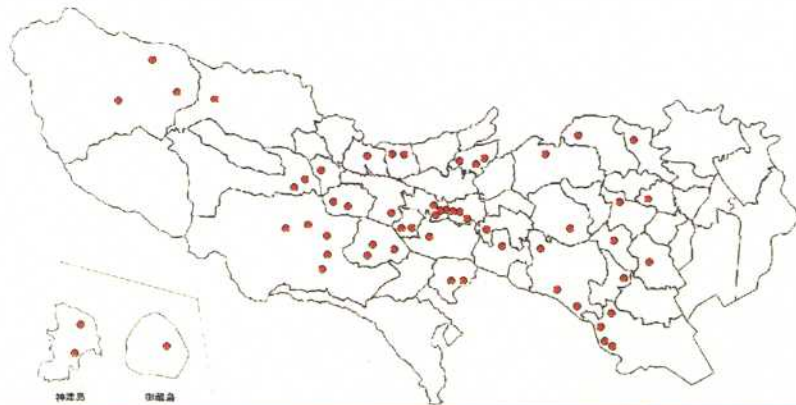


写真：斜面の崩壊



写真：奥多摩のシカ

東京の名湧水57選



- | | | |
|-----------------------|------------------------|-------------------|
| 1 柳川井 (港区) | 21 小宮公園 (王子市) | 41 清徳院 (足立市) |
| 2 おとめ山公園 (新宿区) | 22 矢川緑地 (市川市) | 42 滝野川緑地 (東大和市) |
| 3 関二若葉苑 (文京区) | 23 野川公園 (三鷹市) | 43 ニル池公園 (東大和市) |
| 4 目黒不動尊 (目黒区) | 24 小瀬西宮 (青梅市) | 44 南沢緑地 (東久留米市) |
| 5 多摩川園カナル跡地 (大田区) | 25 西御湧水 (府中市) | 45 竹林公園 (東久留米市) |
| 6 清水窪井水天 (大田区) | 26 蓮井神社 (昭島市) | 46 黒目1丁井水 (東久留米市) |
| 7 田園調布神楽池・御用井 (大田区) | 27 龍幸寺 (昭島市) | 47 龍の入り不動尊 (武蔵野市) |
| 8 六御用井・洗・湯井 (大田区) | 28 深大寺不動の滝 (昭島市) | 48 穴蔵神社 (昭島市) |
| 9 等々力薬谷・等々力不動尊 (世田谷区) | 29 糞井神社 (小金井市) | 49 威光寺 (昭島市) |
| 10 鳥山井水天 (世田谷区) | 30 滝野川 (小金井市) | 50 二尊神社 (あきる野市) |
| 11 岡村瀬田緑地 (世田谷区) | 31 中井研一記念湧水館 (小金井市) | 51 八雲神社 (あきる野市) |
| 12 清正の井 (世田谷区) | 32 黒川湧水 (日野市) | 52 祥安寺の湧泉 (奥多摩市) |
| 13 善徳寺・藤井村下流 (世田谷区) | 33 中央図書館下湧水 (日野市) | 53 新子口の湧水 (奥多摩市) |
| 14 赤沼自然観察公園 (世田谷区) | 34 小沢緑地 (日野市) | 54 釜の水 (奥多摩市) |
| 15 不動の滝 (保摩町) | 35 姿見の池 (国分寺市) | 55 多摩湧水 (神楽町) |
| 16 清水山麓の森 (保摩町) | 36 新地池 (国分寺市) | 56 つばき湧水 (神楽町) |
| 17 叶谷緑地 (王子市) | 37 殿ヶ谷庭園 (国分寺市) | 57 大島川 (御蔵町) |
| 18 子安神社 (王子市) | 38 お鷹の道・真姿の池湧水群 (国分寺市) | |
| 19 六木公園 (王子市) | 39 ママ下湧水群 (国立市) | |
| 20 片倉山公園 (王子市) | 40 常盤の湧水 (谷保天沼町) 国立市 | |

東京都自然保護員 (東京都レンジャー)

Ranger

Tokyo Metropolitan Government



小笠原諸島の自然

希少種のアカガシラカラスバト



エコツーリズム実施中の南島扇池

